私の好きな漢字

志



千代田中学校　2年
神代 将冴（くましろ しょうご）さん

僕が選んだ「志」という字には、将来に対する高い目標や信念、相手を思いやる気持ちという意味があります。

これからは、高い目標に向かって新しいことにも沢山挑戦し、どんな時にも揺らぐことのない強い信念を持って生きていきたいです。そして周囲を思いやる気持ちを大切にしながら生活していきたいです。

◆◆◆ 文芸コーナー ◆◆◆

◆俳句（ひしの実句会）

赤とんぼ
幾度飛べども元の枝　香月富士雄

秋の風
茶粥のこいしくなりにけり　牟田口則子

佐賀訛盆の空港又来んね　井上　豊美

人の世に妙薬ありや敬老日　田原　静子

リズムよく
胡瓜を刻む夕餉どき　畑石　勝子

夏深む
七つボタンの凛々しさに　牟田　鶴美

◆川柳（あおば会）

覚えてる秋の七草頭文字　眞島　永治

グラウンドゴルフとまりは運八部　柳郷　勝吉

龍宮に
宝はあるかレアメタル　島　信秀

足音が
やっちまったと朝寝坊　佐藤久仁子

柿の秋上り下りの列車行く　眞島　壽子

無駄骨も
とらねば解けぬ事もある　前田　久子

秋日和
やっとわが家へありがとう　馬渡　栄子

秋空に元気飛びかう小鳥たち　吉岡　明美

◆短歌（神埼短歌会）

人生に定年ないと法話聞き
今を大事に
「余生をたのしむ」　田中　と代

障害の息子つくりし
下手焼き
口にふくめばほどよい甘さ　羽野　智子

人のうごき【令和8年9月末現在】

- 人　口：29,750人
  （対前月+2人）
  （男性／14,345人　女性／15,405人）
- 世帯数：12,734世帯
  （対前月－11世帯）

今月の納期

- 国民健康保険税（6期）
- 下水道使用料（9～10月分）

※使用人数の確認をお願いします

市の広報番組

- 「よかね神埼」
  ぶんぶんテレビの14分番組
  月・火・木・金・日曜日
  12：30～、21：30～

※番組編成により放送時間が変更になる場合があります

きらり輝く
神埼人 Vol.15
（かんざきじん）

神埼のまちで、きらりと輝く活躍をされている方達を紹介します。

競技歴わずか半年、全国2位の快挙
―軽やかな笑顔に秘めたパワーで―



ウエイトリフティング選手
山本 朱莉（やまもと あかり）さん

静まり返った練習場に響くのは、バーベルが床に落ちる重い音。鏡の前で山本さんが小さく深呼吸をすると、床から一気に引き上げたバーベルが、ぴたりと静止します。その瞬間、にこっと笑顔を見せました。

小学6年から続けている相撲の稽古でシコを踏む山本さんの姿を見て、素質を見抜いた指導者から誘われ、ウエイトリフティングを今年2月にスタート。「最初はどんな競技なのか、よくわからなかった」と振り返りますが、相撲で鍛えた筋力と柔軟性を生かし、みるみる頭角を現していきました。

迎えた8月の全国中学生選手権大会。一気に頭上へ掲げる「スナッチ」は2回目を落とし、3回目で55キロを決めました。肩に担いでから持ち上げる「ジャーク」では、初挑戦となる75キロに成功。合計130キロ、1位とはわずか1キロ差の2位でした。初めて経験した大舞台を、山本さんは「とても緊張したけど、受賞できてうれしかった」と話します。

ウエイトリフティングの練習は週4回、相撲の稽古は週3回。自転車や家族の送り迎えで、練習場を行き来する日々です。それでも「やめたいと思うことはない」と言い切ります。「うまく上がって、高いところで止められた瞬間は、うれしくて自然と笑顔が出る」と山本さん。その軽やかさこそが、強さの秘訣なのかもしれません。目標は来年のインターハイで上位入賞すること。半年で全国2位をつかんだ逸材は、まっすぐな笑顔で、次の舞台を見つめています。





市長コラム

人のつながりの大切さ

皆さんは、本市がフランスのボークール市と姉妹都市であることをご存じでしょうか。今年は、姉妹都市協約を締結して30年、そして、ボークール市出身の冒険飛行家アンドレ・ジャピー氏が脊振山で墜落・遭難した際、脊振村の人々が救出して90年という節目の年です。その縁で、先月、ボークール市で開催された記念式典に出席しました。

ボークール市の皆さんの脊振の方々への感謝はとても強く、様々な表記を「kanzaki」ではなく「sefuri-kanzaki」としたいとの申し出がありました。また、私からは「今後の交流においては、ぜひ、次世代を担う若者の交流もお願いしたい」ということをお伝えしました。先方も同じ思いで、先人が築いた交流を次の世代につなげたいとのことでした。

現在、ジャピー氏の飛行機を復元し、実現できなかった佐賀から東京までの飛行を目指す「赤い翼プロジェクト」が進められています。来年か再来年の実現が見込まれ、両市の交流がさらに深まることを願っています。

また、先月は「130周年東京佐賀県人会大会」にも出席しました。県内各市町出身の方々から故郷への思いや東京での苦労話を伺いました。特に印象に残ったのは「若い人の入会が少ない」という話です。東京佐賀県人会は、全国で二番目に古い県人会で、多くの歴史があります。長い歴史を持つ佐賀県人会のつながりを次世代に受け継いでいきたいという思いが伝わった素晴らしい会でした。今回、私は城原地区出身の江上弘明さんとお会いすることが出来ました。神埼市の情報を積極的に発信してくださっており、大変ありがたく、頼もしく感じました。

普段は気付かない、人とのつながりの大切さ。でも、人は様々な場面で誰か人のお世話になっています。そう考えると、そのつながりを次の世代へ引き継ぐことは大切なことだと思います。私は、これからも人とのつながりを大切にしていきたいと思います。



神埼市長
實松 尊徳

市長交際費の公表
令和8年9月分

項目	件数	支出額(円)
弔慰	0	0
御祝	0	0
激励	0	0
会費	1	15,000
見舞い	0	0
その他	2	48,241
計	3	63,241